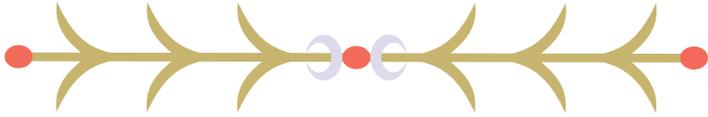




Lily Tale

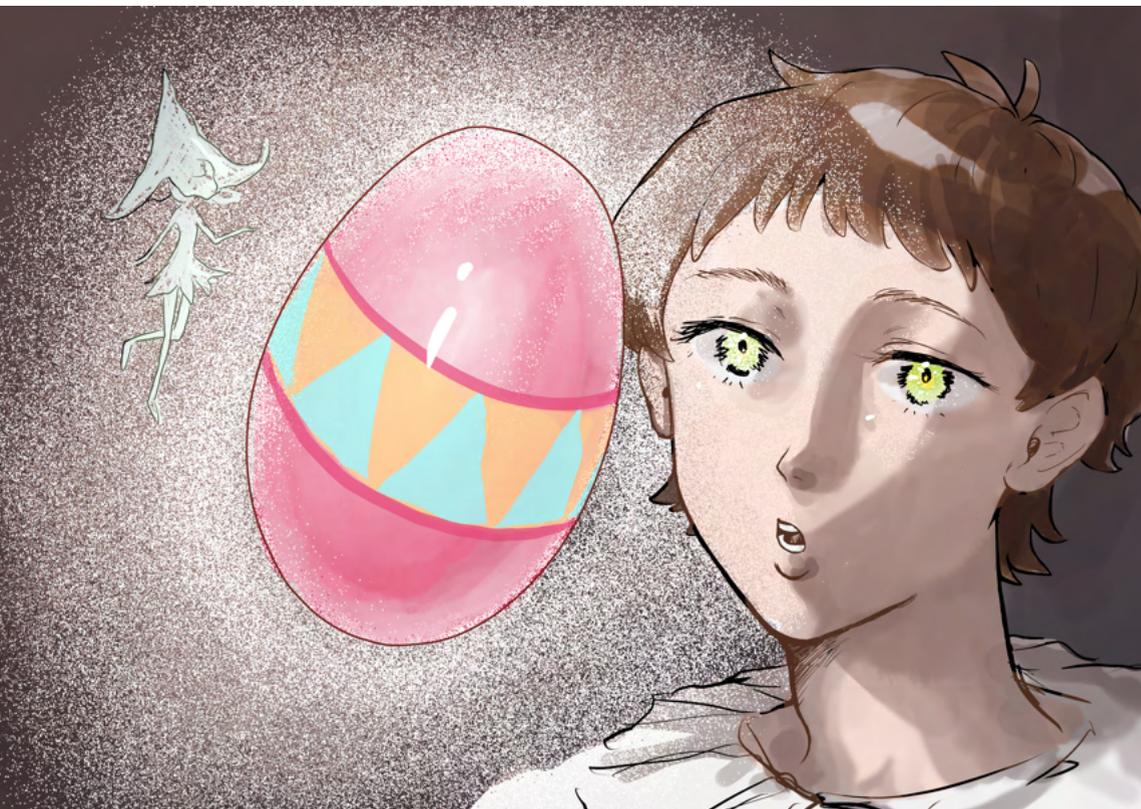




あるところに、リリーという名の小さな子どもがいました。

リリーがいつものように外で遊んでいると、何やら普段とは違う気配を感じます。

その気配をたどっていくと、そこには世にも不思議なたまごがありました。



リリーは、不思議なたまごを手にとって眺めてみます。すると、どこからともなく精霊が現れ、こう言いました。

「選ばれし子よ。そのたまごを孵化させたければ、3種類のユリの花を集めるがよい。」



リリーは突然の精霊の登場に、とても驚きました。

しかし不思議なたまごにどこか惹かれたリリーは、精霊の言葉を受け入れ、3種類のユリの花を探す旅に出ることを決心します。



旅に出たリリーが不思議なたまごとと一緒に歩いていると、たくさんのコオニユリを見つけました。コオニユリたちはリリーを見て、こう言いました。

「素敵な食事会はいかがですか？」

リリーとコオニユリたちは、ユリの根を使った食事を楽しみ、幸せなひと時を過ごしました。

食事会を終えると、1輪のコオニユリがリリーについてきました。こうしてリリーは、1種類目のユリの花を手に入れました。



コオニユリを手に入れたリリーは、不思議なたまごを抱えながら、新たなユリの花を探していました。

すると突然、ラッパの音が聞こえてきました。音のなる方に目を向けてみると、そこにはテッポウユリがいました。テッポウユリは、リリーにこう言います。

「一緒にラッパを吹こうよ！」

リリーが奏でる美しいラッパの音色に、テッポウユリは感動しました。そしてテッポウユリは、リリーについていくことを決めます。リリーは、2種類目の百合の花を手に入れました。



コオニユリ、テッポウユリを手に入れたリリーは、最後の1種類のユリの花を見つけるため、不思議なたまごと共に旅を続けていました。

するとリリーは、小さな村を見つけました。その村ではお祭りが行われており、リリーはワクワクしながら村に足を踏み入れました。

村では、たくさんのマドンナリリーが踊りながら、祭りを盛り上げていました。

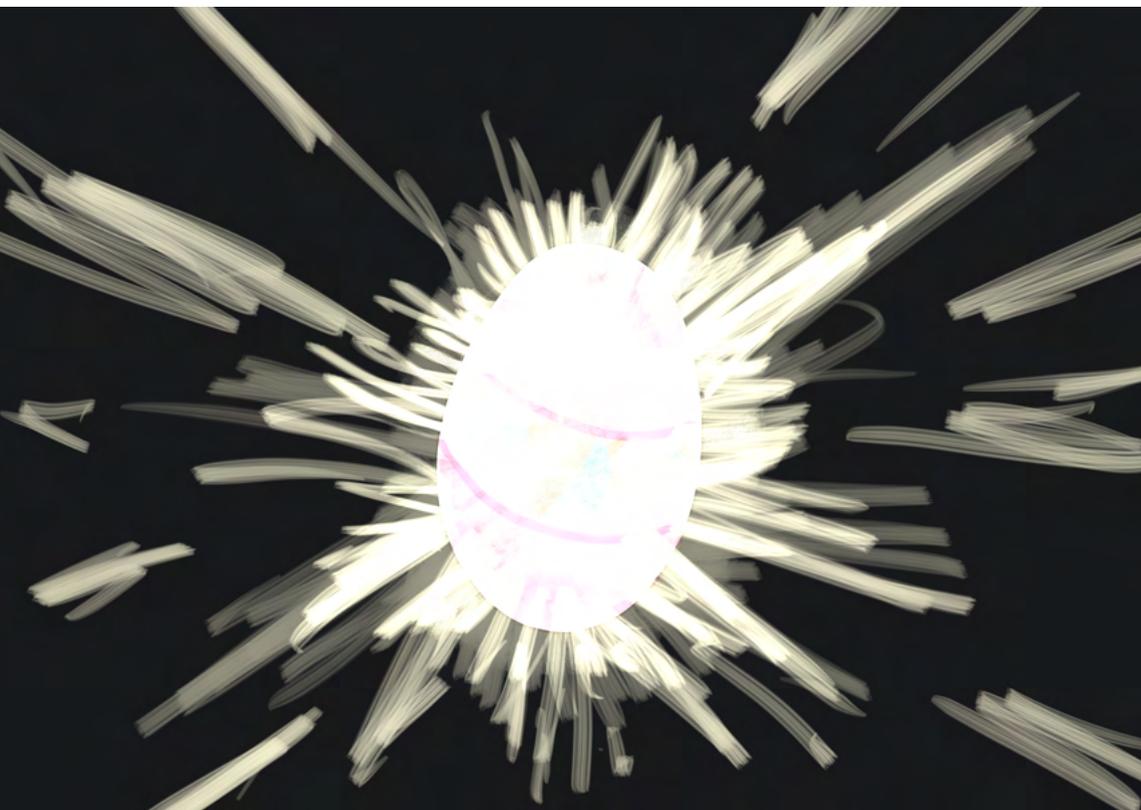
楽しそうに踊るマドンナ・リリーたちを見たリリーは、思わず一緒に踊り出します。

リリーの素敵な踊りを見た1輪のマドンナリリーが、こう言いました。

「あなたの仲間になってあげる！」

こうしてリリーはマドンナリリーを手に入れました。

遂に3種類のユリの花、コオニユリ、テッポウユリ、マドンナリリーを、集めたのでした。



3種類のユリの花を集めたリリーは、とても喜びました。

するとどこからともなく、精霊が現れてこう言いました。

「リリーよ、3種類のユリの花をよく集めた。約束通り、たまごを孵化させてやろう。」

精霊が言葉を伝え終わると同時に、不思議なたまごが光り始めました。



光を放つたまごにはやがてヒビが入り、
遂に卵が孵化しました。

リリーが期待に胸を膨らませながらたまごを
見てみると、そこには世にも美しい、黄金に
輝くユリの花があったのです。

リリー、そしてコオニユリ、テッポウユリ、
マドンナリリーはこの黄金のユリの花を見て、
大いに喜びました。そしてこの黄金のユリの花
を、一生の宝物にすることに決めたのです。

武蔵野美術大学 芸術文化学科

春原ゼミ 3年